

第 18 回世界ビルメンテナンス大会報告

『持続可能な産業の育成:地球環境保護 / 人材開発 / 収益性の追求』

2011 年 2 月 6 日～10 日

ニュージーランド・オークランド

社団法人 全国ビルメンテナンス協会

■大会概要

- 1) 開催期間 2011年2月6日～10日
 2) 開催場所 ニュージーランド・オークランド（アオテアセンター）
 3) 大会テーマ 'Building a Sustainable Industry:
 Protecting the Planet / Developing People / Maximising Profit'
 『持続可能な産業の育成:地球環境保護 / 人材開発 / 収益性の追求』
 4) 参加者数（主催者発表による大会参加登録者数）

16カ国 210名（うち日本 30名）

ニュージーランド	53	韓国	3
ブラジル	37	カナダ	3
オーストラリア	33	フランス	1
イギリス	12	イタリア	1
アメリカ	11	オランダ	1
台湾	10	ベルギー	1
ドイツ	9	スイス	1
シンガポール	4		

■大会プログラム■

2月6日(日)

- 18:30～ 歓迎カクテルパーティー
 19:30～ 日本団結団パーティー（於；レストラン・ハーバーサイド）

2月7日(月)

- 9:15～10:15 オープニングセレモニー
 10:35～11:20 講演①「持続可能な施設管理の成功事例」
 ロブ・ワトソン氏
 11:20～12:15 講演②「日中の清掃と従事する監督者」
 ダグラス・クック氏
 13:30～14:30 講演③「ディバーシー社の
 持続可能なイノベーション表彰プレゼンテーション」
 エドワード・ロナーガン（ディバーシー社 CEO）
 15:00～16:00 講演④「環境持続可能戦略による恩恵」
 サンドラ・ローターバッハ氏

2月8日(火)

- 9:15～10:15 講演⑤「近い将来の物語」
 マイク・ハッチソン氏

- 10 : 45 ~ 11 : 45 講演⑥「正しいボタンを押すということ」
アリソン・ムーニー氏
- 11 : 45 ~ 12 : 30 パネルディスカッション「人材の最適な活用法」
マイク・ハッチソン氏
アリソン・ムーニー氏
- 13 : 30 ~ 14 : 30 講演⑦「サービス産業の新しい国際的プラットフォームを利用する方法」
ブレット・ミッチ氏
- 15 : 00 ~ 16 : 00 講演⑧「世界的な供給チェーンを開発する方法」
- 18 : 00 ~ 20 : 00 次回大会開催国ブラジル協会主催カクテルパーティー

2月9日(水)

- 9 : 15 ~ 10 : 00 パネルディスカッション「救い主としての清掃」
アンドリュー・ラーズ執行副会長 (英国)
クリス・クラックネル財務官 (英国)
ル・ロワ・ドック理事 (米国)
- 10 : 30 ~ 12 : 00 参加国パネルディスカッション
「パンデミックにどう対応しているか？対応するか？」
- 13 : 00 ~ 18 : 30 ビッグデИАウト

2月10日(木)

- 9 : 15 ~ 10 : 15 パネルディスカッション「世界連盟の将来」
- 10 : 15 ~ 11 : 00 閉会式
- 19 : 15 ~ 23 : 30 フィナーレ・ガーラ・ディナー

歓迎挨拶 ロバート・キング会長



全ての参加者を満足させるよう、挑戦的で洞察的なプログラムやパーティーを、我々のチームが計画しました。皆様を世界大会に迎え入れることは、私にとって大きな喜びです。

我々は、世界中の参加者のニーズを満たす環境を創るよう、努力致しました。

大会組織委員会は、ディバーシー社の協力のもと、会場など大会に協力してくれたその他の関係者と同様に、この「2011世界ビルメンテナンス大会 in ニュージーランド」が、最高の思い出となるように、最善を尽くします。

大会にご参加の皆様、この機会を最大限に活用してください。是非、議論に加わってください。そして、このオークランドにおける時間を楽しんでください。

講演者紹介① ロブ・ワトソン氏

ロブ・ワトソン氏は、環境デザインや商業用ビルなどの構造や運営を扱う、グリーナービルディング.com というウェブサイトのエグゼクティブ・エディターです。

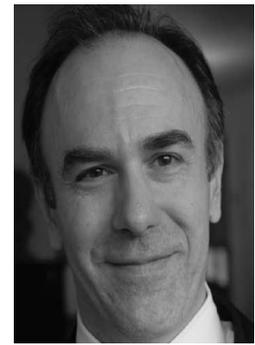
「米国における環境学の最高の知識人の 1 人」とされる、トマス・フリードマンによって述べられていますが、ワトソン氏もまたエコテック・インターナショナルの会長、CEO 及び主任研究員として、よりよいデザインや、技術と運営による、費用対効果の高い環境ビルの達成のため、世界中のクライアントを援助しています。

「LEED 創設の父」であるロブの指揮の下で、アメリカ緑の建築協議会の LEED 評価システムは、世界で最も広範囲にわたる、最も成長の早い環境建築標準になりました。20 年後、自然資源保護協議会による主任研究員として、2007 年にロブは、環境建築技術とサービスを求める成長の早い市場要求に応ずるために、エコテック・インターナショナルグループを設立しました。

彼の仕事への多くの国際的な表彰の中でも、ワトソンは、中国の建設部による環境建設イノベーションで表彰された唯一の外国人であり、アメリカ緑の建築協議会（USGBC）から生涯最初の賞を受け取りました。

ワトソン氏は、コロンビア大学で MBA を取得し、カリフォルニア大学バークレー校(で科学修士を、彼が主任フェローであったダートマス大学で学士号を取得しました。

彼は、環境学校連盟の創設者、マーガレット・ハワード・ワトソンと結婚し、マックスという 12 才の息子がいます。



講演者紹介② ダグラス・クック氏

ダグラス・クック氏は、清掃業界で 40 年の経験があります。彼は、主要清掃組織のために働いた後、1989 年に Principle Cleaning Services 社を共同設立しました。彼が認めたのは、高品質で業務が集中する清掃会社のための市場の必要であり、Principle Cleaning Services 社は発展し、2,000 人以上のスタッフを雇用している、持続可能かつプロフェッショナルな清掃会社として成功しました。

彼は、仲間と同僚に非常に尊敬されており、ダグラスは現在、CSSA 会長を務め、BICSc（英国の清掃科学研究機関）協議会の一員で、BCC（英国清掃協議会）の副議長です。彼は週末、サラセーンズなどの様々なクラブでラグビーをし、現在はレフェリーを務めています。彼は判事でもあり、また熱心なウィンドサーファーとスキーヤーでもあって、ロンドンの全身性障がいを持つ児童施設といった、多くの慈善団体を支援するなどの、積極的な活動を行っています。

北ロンドンを拠点とした Principle Cleaning Services 社は、顧客関心が集中し、非常に経験豊かで意欲的な経営陣による、特別なサービス水準を持つ会社です。同社は、清掃と総合サービスを、特殊分野、法律専門関係、商業施設、教育機関といった、ロンドン、そして英国中の大中の組織に提供しています。Principle Cleaning Services 社における有名なクライアントには、ガーキン、シェークスピアのグローブ座、ブロードゲート、キャンサーリサーチがあります。



講演者紹介③ エドワード・ロナーガン氏

エドワード F. ロナーガン氏は、2006年2月に、ディバーシー社の会長兼CEOに就任しました。ロナーガン氏はまた、同時期に、持株会社の取締役として、会長兼CEOに就任しています。ディバーシー入社前にロナーガン氏は、消費財産業における25年以上の経験があります。ごく最近だと、2002年5月から2006年1月への間、ジレット社のヨーロッパの地域部長を務めていました。彼は、P&Gで、1981年から2002年4月まで働き、P&G社では、様々な責任あるポストで業績を上げ、最近では、ヨーロッパとアメリカ合衆国における、カスタマー総括責任者を務めています。



講演者紹介④ サンドラ・ローターバッハ氏

サンドラ・ローターバッハ氏は、オーストラリア・シドニーに拠点を置くEsty Environmental Partners (EEP)の執行役員です。EEPは、持続可能なビジネス価値の創造のため、とてもインパクトの高い環境戦略を構築しようとするクライアントに対し、環境戦略に関するコンサルタントをしている会社です。

サンドラ氏は、企業戦略の作成と実行において、15年以上の経験があり、ビジネス焦点が集まる環境戦略開発のエキスパートです。EEPに加わってからサンドラ氏は、環境プロジェクトの分野に取り組み、環境および気候変動政策の意義を分析するなど、成功しているコミュニケーションと従業員も関わったプログラム、そして戦略的パートナーシップの発展を実践させてきました。サンドラ氏が関わったプロジェクトには、投資情報サービスや、保険業、運送業、石油やガス、食品飲料業界、介護や化学の分野にまで及びます。



EEPに加わる前には、サンドラ氏はAIGの主任サステナビリティ研究員時代に、投資分析上の指標として、環境、社会的影響、ガバナンス体制といった、いわゆるESG水準を評価する戦略を開発しました。サンドラ氏は以前、サイエント社、やアーンスト・アンド・ヤング会計事務所、ニューイングランド・コンサルティング・グループで働いた経験があります。

サンドラ氏は、コルゲート大学で学士を取得し、コロンビア・ビジネススクールでMBA、エール大学の森林環境学部において環境管理学の修士号を、取得しています。彼女は、二酸化炭素市場と、持続可能な従業員関わり戦略に関する、著作も発表してきました。

講演者紹介⑤ マイク・ハッチンソン氏

エッセイスト兼起業家のハッチンソン氏は、ブランド・マーケティングの第一人者です。新聞雑誌にコラムを連載するかたわら、各種イベントのトークショーにも頻繁に出演し、様々な企業・公共機関の役員も務めています。

ハッチンソン氏のキャリアは、コピーライターとして始まりました。そのスタートにおいては、広告代理店協会実施の資格試験で、オーストラリア・ニュージーランド両国における最高総合得点を獲得するほか、トレンチャード・ス



ミス賞を受賞し、ニュージーランドで最も優秀な若手コピーライターとして、リーダーズ・ダイジェスト奨学金を授与されました。当時は、シドニーのLintas Advertising 社に勤務していました。

やがて、Colenso Communications 社や、Hutcheson Knowles Marinkovich Advertising 社など、数々の大手広告代理店を共同設立し、ニュージーランドの人々の記憶に残る、多くのキャンペーンを手がけてきました。

1997年には、国際的な大手広告代理店 Saatchi & Saatchi 社に、常務取締役として迎えられ、2000年には専務取締役に就任、さらに Saatchi & Saatchi 社の、シンクタンク機関 The Hive も設立しています。

ハッチンソン氏は長年にわたり、英国の新聞インデペンデント紙に、ユーモアを交えたコラムを連載してきましたが、現在は、ニュージーランドのビジネス誌 Unlimited に、イノベティブなアイデアに溢れた記事を、連載しています。

ハッチンソン氏の、軽快で歯切れがよく、ユーモアにあふれたコラム集は、まず No1 Best Seller というタイトルで出版され、2006年には続編 Beethoven's Banker も出版されました。

講演者紹介⑥ アリソン・ムーニー氏

熱のこもった、しかもユーモアあふれるプレゼンターの、アリーことアリソン・ムーニー氏は、2009年、ニュージーランド全国講演者協会オークランド支部にて、前人未到の「スピーカー・オブ・ザ・イヤー」3度目の受賞を果たしました。

ムーニー氏の楽しく小気味よい、なおかつ聴衆の心の目を開かせるようなトークを聞くと、自分の話し方にもっと磨きをかけたい、さらには自分や周囲の人々の生き方をもよりよいものにしたい、と強く思う気持ちが湧いてくるはずです。

ムーニー氏の講演は以下の内容です。

- ・相手が本当に求めているのは何か - 心の速読術
- ・「相手の目」で見る - より良い人間関係のために

ひらめきや知識に満ち、笑いの中にも考えるヒントを提供するムーニー氏のトークは、同時にどんな人間関係も変えてしまう、強力な武器を授けてくれます。



講演者紹介⑦ ブレット・ミッチ氏

ブレット・ミッチ氏は、オーストラリアのシティグループのM&A本部の取締役であり、1998年から2007年の間、12年以上、主にニューヨークにおける世界的な投資銀行における、経験を持っています。

ブレット氏は、世界的な公共インフラ分野におけるM&Aの成功の、推進と実行において精通しています。彼のいる重役会や経営陣は、戦略的成長機会の開発と実行に、携わってきました。彼は、2007年の、UGLのUNICCOへの合併も経験しています。その上、彼には、M&A成長と戦略的発展にフ



オーカスした、パネルディスカッションの講演依頼もあります。

1991から1996年の間、ブレット氏は、オーストラリアの、水産業のプロの土木技師として働いたこともあり、最近では、TRUエネルギー社（中電控股有限公司のオーストラリアの子会社）における企業発展に貢献しました。

ブレット氏は、アキュメン・ファンドの、ウォーターポート・フォリオにおけるアドバイザーとして、無報酬で活動しています。

ブレット氏は、土木技師時代に、大学と大学院を卒業し、メルボルン大学でMBAを取得しましたが、現在は、オーストラリア・メルボルン在住で、結婚し、2人の子供がいます。

【報 告】

「もし2週間ずれていたら・・・」 胸の痛くなるような思いで、テレビに映し出されるクライストチャーチの倒壊ビルを見ているのは、ニュージーランド大会（第18回WFBSC世界大会）に参加した人たちだけではないだろうと思われる。昨年9月の地震の話を聞いて、「ニュージーランドも地震国なのだ」と不明を恥じたところであったが、再び、より甚大な地震被害がクライストチャーチを襲うとは、到底想像することができなかった。まずは一日も早い安否の確認を祈るばかりである。

ニュージーランド大会は『持続可能な産業の育成:地球環境保護/人材開発/収益性の追求』をテーマに、上記のプログラムで進行した。日本からの大会登録者は30名、非登録同伴者を含めた33名は、それぞれグループに分かれ、三々五々オークランドに到着、2月6日19:30から、全員出席で、日本団結団式が豪華客船の接岸する港のそばのレストランで開催された。18:30から開催された大会歓迎パーティーに出席した流れで、結団式会場に集合、参加者間の懇親を深めた。

2月7日9時過ぎから開会式、ニュージーランドの先住民マオリ族の歓迎を受ける。ニュージーランド協会会長で世界連盟会長の、キング会長より簡潔な歓迎の挨拶。そして、日本からは、大塚耕平厚生労働副大臣のメッセージが、(財)ビル管理教育センター篠崎英夫理事長によって、紹介された。

《厚生労働副大臣メッセージ》

第18回世界ビルメンテナンス大会がここニュージーランド国・オークランド市において盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。また、私のメッセージを本日ここに御参集の皆様方、さらには世界各国でビルメンテナンスサービスに携わる方々にお伝えできることを大変光榮に存じます。

昨今、世界各国において、高層で大規模なビルが増え続けております。ビル内で一日の大半を過ごす人々が増加し、それらの方々の健康を守ることが、健康行政にとって重要な課題となって

います。

我が国においては、ビルの衛生管理に関する基準等を定めた法律が1970年に制定されて以来、ビルメンテナンスサービス業に携わる方々のたゆまぬ御努力、御尽力により、ビルの環境衛生水準が良好に保たれてきました。

最近では、ビルの環境衛生上の維持管理に加え、地球環境保護のための省エネルギーへの配慮も必要となっており、ビルメンテナンスサービス業が果たす役割はますます重要になってきております。

本大会において、「持続可能な産業の育成：地球環境保護／人材開発／収益性の追求」というテーマの下、ビルメンテナンスサービスに携わる方々が世界各地から一堂に会され、知識や経験を共有し、また、友好の輪を拡げられることは、ビルメンテナンスサービスの持続可能な発展にとって誠に意義深いことでもあります。

本日御参集の皆様方が本大会において多くの成果を得て、今後のサービスの向上等に生かし、世界のビルメンテナンスサービス業が大きく発展されること期待しております。

最後に、皆様方の今後ますますの御活躍を祈念いたしまして、私の祝辞といたします。

2011年2月

日本国 厚生労働副大臣 大塚 耕平

《テーマ解題》

今大会も、前回のアルゼンチン大会のテーマであった「サステナビリティ」を引き継いだ。大きく言えば、地球と地球上に生きる生物が生命の営みを持続させていくこと、地球に負荷をかけない循環のシステムを築くことを、意味している。この考え方は、地球・自然だけに適用されるだけでなく、人間の経済や社会、小さく言えば経営や労働、生活に至る様々な活動にも適用されるものである。あらゆる生命活動において、廃棄物が発生するとすれば、それを再資源化し、この地上に滞る物を残さないこと、即ちマイナスがあればプラスで補い、結果を絶えずゼロにしていこうとする思考概念、と行うことができるであろう。

最初の講演者で、基調講演を行ったロブ・ワトソン氏は、講演者紹介にあるとおり、LEED (Leadership in Energy and Environmental Design 建造物の環境配慮基準) 創設の父と言われる人で、今大会テーマにもっともふさわしい人物であった。ここで少し、LEED が何であるかを紹介したい。

LEED とは、米国グリーンビルディング協会 (US Green Building Council) によって開発・運用されている建築物 (敷地利用を含む) の環境配慮基準の認証制度で、エネルギー効率に優れ、サステナブルな建築物を普及させる目的で作られた。USGBC では、建設業のあらゆるセクターに対応するよう、LEED を発展、進化させ続けています。LEED の基準は、格付の対象とする範囲を広げ、現在では派生格付システムの下で、商業施設やオフィスビルの新築・大規模改修、既存建築物の省エネ強化、商業施設の内部空間のためのプロジェクト、住宅、近隣地区の一带開発などの対象を網羅している。LEED の目的とするところは以下の通り。

- 「グリーンビルディング」の評価基準に対する共通の認識を確立し、定義を明確化する
- 建造物全体を統合するデザインに対する取り組みを促進する

- 建設業における環境配慮指針を明示する
- 建築物のグリーンビルディング化を推進する
- グリーンビルディングがもたらす恩恵に対する消費者の認識を高める
- 建築物の価値を査定する際の新しいものさし（基準）を提供し、不動産市場の価値基準を容させる

LEED は建物の性能および、目標とする持続可能性（サステナビリティ）への到達度を査定するための枠組みを提供する。事実上立脚した科学的な基準に基づき、サステナブルな用地開発、水資源の節約、エネルギー効率の向上、素材の選択、室内環境の向上などに対する技術や目標値について、明確な指針が示されている。

2007 年の時点で、LEED 認証を申請しているのは全米で 8,566、認証を受けているのは 1,129 のビルだそうである。日本でも CASBEE の運用が始まっているように、環境配慮格付けは世界的なトレンドになりつつある。また、LEED 認証を取得する動きは、米国内に留まらず、中国やインド、ブラジル、そしてドバイなどにおいて増加している。LEED 認証を取得することは、水・光熱費等維持管理コスト削減という目に見えるメリットの他にも、生産性や快適性の向上が数多く認められることから、テナント獲得にも有利であることも証明され始めている。

ロブ・ワトソン氏は、「建築物（都市化）は農地を商業地に変え、多くのエネルギーを使用し、地球にとって最悪のものである」と指摘する。もちろん人が生活し、生産する建築物環境のレベルは絶えず高めなくてはならないが、一方でエネルギー効率を上げ、消費エネルギーを低下させていくシステムを作り込まなくてはならない。中国では建築物の耐用年数が 25 年から 30 年程度となっているが、これでは膨大なエネルギーを使い捨てていくことになる。耐用性の向上も不可欠である。いま、LEED は 100 カ国で導入されているが、先頭を走る建築物が、全体を押し上げていくようにリードしなくてはならない。

ロブ・ワトソン氏の基調講演の後、WFBSA の大スポンサーであるディバーシー社の会長兼 CEO エドワード F. ロナーガン氏がもう一つの課題を、業界取り組みに引き寄せて提起した。すなわち、ビルメンテナンス業はサステナビリティという課題の中心に存在しており、そのような存在として力を発揮しなければならないし、そうすることによって社会の信頼を勝ち得、ビジネスチャンスに繋げていく必要があるとの提言である。

この業界の未来は明るいと確信している。その地位は誇れるものである。清潔と安全の場を整えているのが、私たちの役割であり、いろんな人たちに感謝されながら仕事ができる誇りのある業界になっていく可能性を秘めている。地球の資源を守っているのだという自覚、地球を守っているのが私たちの役割である。

サステナビリティは私たちのビジネスチャンスである。肝心なことはマインドを変革していくこと、温暖化ガスを廃棄物のひとつとして見えるようにし、そのことによって削減していく動機を作っていくことである。我々の業界は軽んじられるべきではない。メンテナンスする人たちの役割はたいへん重要である。

氏は業界の担う重要な役割とその役割を十分に社会に認識してもらう必要性を述べた後、前回の大会から 2 年、サステナビリティに向かってビジネスの改革を図ってきた優秀な会社に対して賞を贈与した。賞を獲得したのは UGL サービスという会社であった。

さらに、もう一つ具体的に、現実にしたがって自らの取り組みを紹介したのは、ダグラス・クック氏である。氏は、2千人以上の従業員を抱える清掃会社の社長であるが、あるとき、清掃現場に新しく雇用された清掃員として潜り込み、そこで学んだいろんな経験談を述べるところから話は始まった。多くの聴衆が引きつけられる。みんなと一緒に生活、夕食も一緒にしたが、現場の彼らは、何でもびかびかにしなければ承知しない人たちばかりだった。くたくたになって帰宅、夜の清掃はこれが初めてだったが、たいへんな肉体労働だと認識させられた。清掃に対して十分なお金を払っていないと感じたし、やる気を起こさせるような何かが必要と感じた。もっとレビューする必要がある。働いている人たちの中に入って行って、そこからの視点で日常を見る必要がある。

アメリカには、日中清掃をしているところを見るのはいやだという慣習があるように感じられる。この慣習を直していく必要がある。私は積極的に昼間にクリーニングを導入し、クリーナーの倫理観が高いことを見せ、清掃に対して好意的な感情を持ってもらうように働きかけてきた。清掃員もやる気を起こさせることができた。清掃に対する嫌悪をぬぐい去るだけでなく、昼間の清掃はエネルギー消費が少なくて済み、夜だと照明の費用だけではなく警備まで入ることになる。

問題は経営側にあり、労務管理能力を高めること、予算を確保し現場に関心を持つことである。日中の清掃は人手が多くいるか、逆である。コストは抑えられる。日中であれば顧客の要望を直接聞きながら清掃仕様を低く抑える（要望もされないことをやる無駄を省く）ことができ、逆に顧客の啓蒙活動ができる。これは品質を下げることではない。少ない経費で顧客満足を上げるということである。

氏は、夜間清掃から日中清掃への転換の効用をサステナビリティから迫っていったが、それだけではなく、経営、労務管理、果ては倫理観まで変えていく効果を紹介した。

これらの講演を受けて、2月9日(水)9:15から、WFBSCの3理事が問題を提起し、会場の発言も含めたパネルディスカッションが開催された。社会において清掃がどれほどの重要な位置を占めているのか、しかし、その重要な位置、役割に比して、十分な社会的認識の向上が為されていないこと、SARSから新型インフルエンザの流行に至る中で、感染症問題にも清掃が多くの貢献が出来ることが自覚されたし、その中にビジネスチャンスが潜んでいることも分かった。しかし、社会においてそのことが実現したかと言え、極めて悔しい思いをし、切歯扼腕した思いを残したのである。世界各国の業界人たちが一様にこの感想を抱いているのである。

日本でもやはり、同様の事象が多く語られる。わずかに日本が他国に比して有利なのは、清掃に対する倫理観が少し違っているところである。清掃が教育の一環になっているような国は、ないのである。しかし、それでもビルメンテナンス業の社会的役割、それをどうやって社会に同じ目線で知らしめていくか、それが依然として企業の欲求であり、業界の願望であり、ビルメンテナンスを事業とする団体（協会）の務めであることは変わらない。

全国協会から理事の一人として参加していた私は、次の2つのことについて意見を述べ、子どもに対する働きかけなどについての日本の取り組み、日本の清掃倫理観などについて述べ、拍手をいただいたが、どこまで理解していただいたかやはり不安は残った。

意見①インフルエンザへの対応

昨年流行したインフルエンザは、幸い、鳥インフルエンザ（H5N1）ではなかったため、最悪の事態には至りませんでした。想定したパンデミックは、いつ私たちに襲いかかるか分かりません。日本の協会（全国ビルメンテナンス協会、以下 JBMA という）は、ビルメンテナンス業が、医療機関をはじめ国民の生命・健康に関わる諸種の業種・職種と委託契約関係にあり、パンデミックの中でも否応なく事業継続を求められる場合があることを想定し、『新型インフルエンザ対策ガイドライン』をまとめ会員事業者に配布するとともに、事業継続をテーマとした『新型インフルエンザ対策セミナー』を開催してきました。また、政府によるワクチン接種の先行順位においては、重要な施設の機能維持に関係する業種として取り上げられました。この点に関しては、決して十分であったわけではありませんが、政府に対する私たちからの働きかけも行ってきました。この他、ノロウイルスによる感染例も発生し、『吐瀉物処理マニュアル』なども発行・配布しております。

意見②トイレの神様と小学校への働きかけ

いま、日本では『トイレの神様』という歌が流行っています。

簡単にその歌の内容を申し上げます、「トイレには女神様が住んでいて、トイレを一生懸命きれいにすると、美しい大人に、別嬪さんになれるんだよ」といつも言っていた、今は亡き祖母との暮らしを歌ったものです。

日本で、このような歌が生まれ、多くの人たちに受け入れられるのは、汚れたところをきれいにすること、清掃をすることが、教育の一環になったり、僧侶たちの修行になったりするという道德概念が存在しているからです。皆が嫌がる清掃に取り組むことが、精神の鍛錬や人間の成長と結びついているという、日本人の精神的バックグラウンドを理解してもらえば、この歌の意味も分かっていただけのではないかと存じます。

この精神的バックグラウンドをご理解いただいた上で、私たち JBMA の取り組みをお聞きいただきたいのですが、昨年、『小学校清掃指導マニュアル』という 100 ページほどの冊子を全国 24,000 の小学校、障害者養護学校に配布いたしました。子どもたちが自ら清掃をする方法、手順を解説し、その中には当然、感染を予防するための正しい手洗いの方法なども掲載してあります。

本冊子はたいへんな好評を得ることが出来、2,000 に上る小学校からいろんな意見や感想が寄せられました。私たちのビルメンテナンス業が一般の人たちの衛生確保に強く関係していることを理解してもらおうための活動のひとつとして取り組んでおり、ご参考にしていただければ幸いです。

最後に、まだ正式の決定を得ているわけでないが、理事会で検討され発表された WFBS のポリシー・サマリーを紹介して、第 18 回ニュージーランド世界大会の報告としたい。

（文責；社団法人全国ビルメンテナンス協会 常務理事 興膳 慶三）

WF B S C方針概略 WFBS C Policy Summary

イントロダクション Introduction

WFBS C は清掃ビルサービスのグローバル団体である。各国協会・業者を含み、世界の同業界の、共通の目的・利益促進をもって結合する。

環境維持保全 Sustainability

環境維持保全は、清掃業界の第一の問題である。業界自体が維持に耐えうるべきであり、他業界の維持保全を促進することが主たる役割である。清潔・健康環境を条件に、ビルの機材等を延命することで、次の事項を促進する政策方針をとりたい。

- ・清掃に関する世界レベルの維持規範を設ける。
- ・作業員をもっと社会的時間時間に働かせ、ビルのエネルギー消費削減をするという当番制を拡大。
- ・清掃化学品をより効率的に使うための投入システムの促進。
- ・濃縮化学品の使用拡充。
- ・マイクロファイバー使用の拡充（化学品消費減少）。
- ・伝染病等パンデミック撃退。
- ・化学品の正しい使用方法。

労働基準 Labour Standards

ビルサービス（業）セクターは労働集約型である。ビルサービス企業は、多くの労働者を雇用する。時にはパート労働者、また時には法的最低賃金での雇用で。業界は、こういった労働者へのケアが必要であると認識している。この過当競争セクターにおいてコスト面のプレッシャーは、基準の改善を求める従業員との間でしばしば障害となっている。いくつかの国では、これが合法的な商売に危害を加え、また労働者を虐待するという非公式経済における悪い成長につながっている。

WFBS C は、次を促進していく方針を掲げる。

- ・ 政府の調達パワーは、民間部門が追随するような、高品質のビルサービスの仕事であるという前例となるように使用されるべきである。
- ・ 清掃を発注するクライアントに対して、請負契約には生活賃金を含めるよう要請・奨励する。
- ・ 国の経済情勢と法的事情は異なっているということ、また 1 つの国の経験をして他国においてこれを推論できるというのは間違っているということの認識である。
- ・ ビルサービス業には柔軟な労働力を必要とする。
- ・ 労働組合に加入するかどうか個人の権利を尊重する。
- ・ 非公式経済下に関する強要活動にターゲットを絞る。
- ・ 労働者の適切な訓練、及び雇用主が個人的投資を行いその見返りを見る機会。

清掃と健康 Cleaning and Health

清掃業界には、世界的健康問題に対する行う三大貢献がある。我々自身の従業員の健康と幸福を見守る責任があること、健康を害する汚染を削減するという重要な役割を果たすこと、また、わかりやすく言えば、学校、会社、その他公的場所をきれいできちんとした健康環境として創造するという重要な立場である。

WFBCS は、次のことを促進していく方針を掲げる。

- ・ 清掃労働者、また一般市民の清掃することで被った事故の減少、特にすべり・つまずき、運動機能障害、および高いところからの落下等々。
- ・ 病院清掃において、最高に価値ある清掃であることを確証するために、公開された競争性のある市場。
- ・ ヘルスケア施設の清掃に関する投資。
- ・ ビルを常時きれいにしておくという観点からの新しいビル・新しく改装したビルのデザイン。
- ・ 普段からの一般市民に対する清潔と衛生についての重要性の促進。ただし、感染症パンデミックが疑われる時を除く。

今後の世界連盟運営と世界大会に求めるもの

国際担当副会長 一戸 隆男

今回の世界大会には、日本から 30 人が登録し参加しました。その数は、一時からすれば激減ということになるのですが、成長期の頃、円高の勢いも借りながら、この世界大会を海外経験の良い機会と捉えて参加していた動機が、様変わりしていることも確かなこととございます。

この減少は、世界連盟に参加する諸外国においても同様なことが言えるようで、今大会の前日に開催された理事会でも、いろんな催しも含めて 5 日間というのはあまりに長く、ビジネスセッションや展示会など、密接に仕事に関係したプログラムを 2~3 日に短縮し、そのほかは個人個人がアフターコンベンションを楽しめば良いのではないか、という意見が出されておりました。このことは、私たちが早くから発言していたことですが、アメリカからイギリスへ事務局が移転したことをきっかけに、ようやく世界大会の運営にも見直しが入ってきたようです。

世界連盟は 1979 年に発足するのですが、すでにその設立に関わった主要な方たちは、日本も含めてほとんどが亡くなられるか、引退されるかしており、当時の思いも変更を余儀なくされているというのが正直なところかも知れません。それぞれの国、それぞれの地域が個々に発展させてきた業界を、一つに結びつけてその成長（成功体験）を確認しあった時代は、過ぎ去ったのかも知れません。このところの大会セッションから感じるところではありますが、やはりグローバルゼーションがこの業界にも及んでいることを感じさせます。

日本でも進んでいる公の施設の市場化（PFI や指定管理者、市場化テストなど）は、欧米諸国では日本より少し先行して始まっていたようでありまして、また、前回大会、今回大会のテーマとなっているサステナビリティ（持続可能性）やそのための評価制度等は、まさに世界中を巻き込んでいる潮流とすることができます。グローバルゼーションが進む世界で、各国で言われている主張に触れることは、今後たいへん重要なことになっていくのではないかと思います。少々まじめくさっていますが、一方では世界大会をそのように捉えておく必要もあるのかも知れません。

次回は 2012 年 10 月 10 日~14 日、ブラジル・クリチバで開催されます。この大会はまだ旧弊を残しているようですが、その次の大会、すなわち 2014 年の大会は、ニューヨークでほぼ決まりました。ビジネスを中心に置いた大会として、再出発するのに相応しい開催地になる可能性があります。

現在、日本から WFBS（世界ビルサービス連盟）に参加しているのは、私が役員（副会長）として、また、常務理事の興膳さんが理事として加わっています。理事会は、大会直前の一日と、大会が開催されない年に、開催されます。これだけでは十分な活動が保証されませんので、イギリスの事務局が連盟の事務局を担当し、メールやネットで確認しながら事業を進めております。ようやくイギリスに事務局が移転したばかりですので、まだその活動は始まったばかりですが、日本の協会のホームページでリンクしていますので、世界連盟のホームページもご覧になっていただければと存じます。

なお、大会 3 日目の 2 月 9 日、業界関係者のパネルディスカッションにおいて、世界連盟が今後どんな活動をしていくかということを中心として、業界の社会的認識の向上に絞って議論が進んでおりましたが、そのとき日本にも意見が求められ、インフルエンザ問題と業界の社会的

地位の向上に関する問題について興膳理事に発言してもらいました。

特に社会認識の問題に関連して、日本ではやっている『トイレの神様』の歌があることを紹介して、日本では清掃に対して倫理的な認識があること、したがって、小学校では清掃が教育の一環として取り組まれ、手の洗い方なども学校で十分な指導がなされていること、この背景を大事にしなが、私たちは小学校に「清掃指導マニュアル」を配布したことなどを紹介しました。これがたいへん受けて、特に「トイレの神様」には大きな反応が見られ、どんな曲なのか、どんな歌詞なのか、翌日のさよならパーティーではたくさん質問を受けておりました。ちなみに、ネットで探してみたら、やはりありました。正式なものではありませんが、有志が英語にしていたのです。この詞が曲に乗るのかどうかは分かりませんが、以下に紹介致します。外国の方に要求された場合は使ってみたらどうでしょうか。著作権はないと思います。

トイレの神様	God in the restroom
<p>小3の頃からなぜだか おばあちゃんと暮らしてた 実家の隣だったけど おばあちゃんと暮らしてた 毎日お手伝いをして 五目並べもした でもトイレ掃除だけ苦手な私に おばあちゃんがこう言った トイレには それはそれはキレイな 女神様がいるんやで だから毎日 キレイにしたら 女神様みたいに べっぴんさんになれるんやで その日から私はトイレを ピカピカにし始めた べっぴんさんに絶対なりたくて 毎日磨いてた 買い物に出かけた時には 二人で鴨なんばん食べた 新喜劇録画し損ねたおばあちゃんを 泣いて責めたりもした トイレには それはそれはキレイな 女神様がいるんやで だから毎日 キレイにしたら 女神様みたいに べっぴんさんになれるんやで 少し大人になった私は おばあちゃんとぶつかった 家族ともうまくやれなくて 居場所がなくなった 休みの日も家に帰らず 彼氏と遊んだりした 五目並べも鴨なんばんも</p>	<p>Since the 3rd grade, for some reason I was living with Granma My parents were living next door But I was living with Grandma Every day I would help her out I would even play go* with her But, as I didn't like cleaning the restroom Grandma would tell me this: In the restroom you'll find, you'll find A pretty goddess So, if you make the restroom look nice every day Like the goddess, you'll become a beautiful woman From that day on, I started Brushing the restroom I absolutely wanted to become a beautiful woman Hence I would clean it every day After getting the groceries We would eat noodles with duck meat together I would cry reproaching Grandma with failing To record "New Comedy Show" on TV for me In the restroom you'll find, you'll find A pretty goddess So, if you make the restroom look nice every day Like the goddess, you'll become a beautiful woman As I was becoming an adult I had arguments with Grandma Everything wasn't going so fine with my family And I had nowhere to go On holidays, I wouldn't go back home I would hang around with my boyfriend, instead Go games and noodles</p>

<p>二人の間から消えてった どうしてだろう 人は人を傷付け 大切なものをなくしてく いつも味方をしてくれてたおばあちゃん残して ひとりきり 家離れた 上京して2年が過ぎて おばあちゃんが入院した 痩せて細くなってしまった おばあちゃんに会いに行った 「おばあちゃん、ただいまー！」ってわざと 昔みたいに言ってみただけ ちょっと話ただけだったのに 「もう帰りー。」って 病室を出された 次の日の朝 おばあちゃんは 静かに眠りについた まるで まるで 私が来るのを 待っていてくれたように ちゃんと育ててくれたのに 恩返しもしてないのに いい孫じゃなかったのに こんな私を待っててくれたんやね トイレには それはそれはキレイな 女神様がいるんやで おばあちゃんがくれた言葉は 今日の私を べっぴんさんにしてくれてるかな トイレには それはそれはキレイな 女神様がいるんやで だから毎日 キレイにしたら 女神様みたいに べっぴんさんになれるんやで 気立ての良いお嫁さんになるのが 夢だった私は 今日も一人でトイレを ピカピカにする おばあちゃん おばあちゃん ありがとう おばあちゃん ホンマに ありがとう</p>	<p>Were all behind Grandma and me Why on Earth do people hurt each other? We lose sight of what's close to us Grandma had always stayed there for me And I left her at home on her own I had moved to Tokyo for two years When Grandma got hospitalized She was gradually losing more and more weight I visited her "Hey Granny, it's me!", I said Trying to act like before We barely had the time to talk "You should go home", she said; I then had to leave the room The following morning, I came and saw Grandma who was peacefully sleeping As though, as though she'd been Awaiting me Her who took care of me so well And me who didn't do the same Me who had been a bad grand-daughter All the same she had been awaiting me In the restroom you'll find, you'll find A pretty goddess Will Grandma's words allow the one I am today To become a beautiful woman? In the restroom you'll find, you'll find A pretty goddess So, if you make the restroom look nice every day Like the goddess, you'll become a beautiful woman The perfect bride I was In my dreams Is today still on her own Brushing the restroom Grandma Grandma Thank you Grandma Sincerely Thank you</p>
---	---